やまがた健康企業宣言

健康経営を進める企業の取組を紹介します

ただ今、健康経営実践中！

やまがた健康企業宣言

職員が元気に輝く職場へ。
笑顔の輪が地域の未来を育てます。



代表理事組合長 三浦 康彦 様



企業プロフィール

みちのく村山農業協同組合

所 在 地：山形県村山市楯岡北町1丁目1番1号
平均年齢：47歳
従業員数：276人
事業内容：営農・販売事業、JAバンク（金融）、JA共済（保険）など

社員の笑顔と元気！未来づくりへの挑戦

当JAでは、職員が健康で活き活きと働ける職場環境づくりを推進中。外部連携による体調の可視化や予防・体調管理を通じ、職員一人ひとりの健全な維持管理と組織の活力を高める取り組みをご紹介します。

取組みのきっかけ

当JAは、豊かな自然が育む農業の発展と地域の暮らしを支えることを使命としております。高齢化や環境変化が加速する中、安心とお役立ちをお届けし続けるには、サービスを担う職員の存在が不可欠です。職員が健康で最大のパフォーマンスを発揮してこそ質の高いサービス還元ができると考え、健康増進を重要な経営課題と位置づけ健康経営を開始しました。採用面や若手定着も見据え、職員を大切にする企業姿勢を示し、元気に長く働ける環境整備に努めています。

具体的な優れた取組内容

外部専門企業（株式会社セルヴァン様）と連携し、職員の身体の状態を調査・測定して数値化。それに基づきパーソナルトレーニングやペアストレッチの指導を行っています。また健診受診率100%維持に加え、健診後の再検査や特定保健指導のアポイント管理等も組織で徹底フォロー。冬季のノー残業デー設定や連続休暇取得など働きやすい環境づくりも進めています。

工夫している点

身体の状態を数字で「数値化」して自発的な気づきを促し、複数ある事業所でも業務に負担をかけず同様に対応できる導線を作っています。また、毎週の朝礼で、健康をテーマとしたスピーチが増えるなど、日常的に健康意識が高まっています。

成果と社員の変化

丁寧なフォローにより特定保健指導等の完了率は県内トップクラスです。ストレッチで体が動かない気づきを得て健康の話題が増え、運動習慣の定着や組織の活性化に繋がっています。「会社が健康に投資してくれている」という安心感から心理的安全性も高まり離職率も低下しています。

今後の展望

身体の健康だけでなくメンタルヘルス対策や働きやすい環境づくりに一層注力し、職員一人ひとりが自律して健康を維持・管理できる習慣としての定着を目指します。専門企業との連携も活かし、安心して長く活躍できる、地域から信頼される職場を作っていきます。

協会けんぽからひとこと

外部専門機関を活用し、自分自身の体の状態を数値で見える化しています。ストレッチなど同僚と比較して自身の現状が実感できているからこそ、自然と自分の健康に意識が向くのでしょうね！そういった「気づきの機会」を会社として提供することが真の健康経営に繋がっているのですね！

「もしも」と「いつも」に安心を。協会けんぽ
〒990-8587 山形県山形市幸町 18-20 JA 山形市本店ビル 5 階 023-629-7225（代表）

R8.10月作成